品　質　基　準

一般財団法人　ケケン試験認証センター

2006.9.1制定　（第1版）
2024.9.1改訂　（第23版）

素材別試験項目一覧表

◎　・・・必須項目
○　・・・準必須項目
無印　・・・任意項目
染色堅ろう度　・・・・白色は耐光のみ行う

試験項目 ＼ 素材		織物						編物								
		毛	絹	綿・麻	再生繊維	半合成繊維	合繊	毛	絹	綿・麻	再生繊維	半合成繊維	合繊	合成皮革	天然皮革・毛皮	
混用率		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
染色堅ろう度	耐光	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	第3露光法
	洗濯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		毛・絹・アセテートはA-1号、その他はA-2号。水洗い可のものは必須
	水	○	○					○	○					◎	◎	毛・絹50%以上含む素材は必須
	汗	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
	摩擦	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	ﾎｯﾄﾌﾟﾚｯｼﾝｸﾞ															
	ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	溶剤はパークロを使用但し、顔料プリント等特殊加工のものは石油系溶剤使用。ﾄﾞﾗｲ可のものは必須
	色泣き	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			異色濃淡組合せの生地は必須
	汗耐光															JIS L 0888 B法 ｾﾙﾛｰｽ繊維35%以上含む素材に適用
	塩素処理水															セルロース系繊維を35%以上含む素材に適用
	酸素系漂白	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			酸素系漂白表示するものは必須
	窒素酸化物															ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む素材に適用
	昇華						○						○			ポリエステル混は必須
寸法変化率	浸せきC法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			水洗い不可・ドライ表示するものは必須
	プレスH-2法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	洗濯C4M法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			水洗い表示するものは必須
	ドライ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			溶剤は、ドライクリーニング堅ろう度と同じ。ドライ表示するものは必須
	ハイグラル	○														C法準拠　毛50%以上含む素材は必須
	バブリング	○														毛50%以上含むスーツ素材は必須
	カーリング	○														毛50%以上含むスーツ素材は必須
物性	引張強さ	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
	引裂強さ	◎	◎	◎	◎	◎	◎									
	破裂強さ							◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	滑脱抵抗力	◎	◎	◎	◎	◎	◎									薄地荷重は49.0N/厚地荷重は117.7N
	ピリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			編物・紡毛・起毛品は必須。但しﾌｨﾗﾒﾝﾄのみを使用した編物は省略可
	ﾗﾝﾀﾞﾑﾋﾟﾘﾝｸﾞ															毛50%以上含むものに適用
	スナッグ															サテン・ジャガード等、引っかかり易いと思われる素材に適用
	摩耗強さ															毛・絹 E法(ﾏｰﾁﾝﾃﾞｰﾙ法) その他 A法(ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ法)
	パイル保持性															
	撥水性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			撥水表示をするものは必須
遊離ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	法規制対象品は必須
特定芳香族アミン																法規制対象品に適用

※証明書の有効期限は発行日より原則半年です。

素材別試験項目基準

試験項目 ＼ 素材			織物					
			毛	絹	綿・麻	再生繊維	半合成繊維	合繊
混用率								
染色堅ろう度	耐光	変退色※1	3級以上					
	洗濯	変退色	4級以上					
		汚染※2	3級以上					
	水	変退色	4級以上					
		汚染※2	3級以上					
	汗	変退色	4級以上					
		汚染※2	3級以上					
	摩擦	乾燥※3	4級以上					
		湿潤※4	2-3級以上					
	ﾎｯﾄﾌﾟﾚｯｼﾝｸﾞ	変退色	4級以上					
		汚染	4級以上					
	ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	変退色	4級以上					
		汚染※2	3-4級以上					
	色泣き	汚染	4-5級以上					
	汗耐光	変退色	3級以上					
	塩素処理水	変退色	3級以上					
	酸素系漂白	変退色	4級以上					
	窒素酸化物	変退色	4級以上					
	昇華	変退色						4級以上
		汚染						4級以上
寸法変化率	浸せきC法	たて	-3.0～+1.0					
		よこ	-3.0～+1.0					
	プレスH-2法	たて	-2.0～+1.0					
		よこ	-2.0～+1.0					
	洗濯C4M法	たて	-3.0～+1.0					
		よこ	-3.0～+1.0					
	ドライ	たて	-2.0～+1.0					
		よこ	-2.0～+1.0					
	ハイグラル	たて	-1.0～+3.0					
		よこ	-1.0～+3.0					
	バブリング	30分後	3級以上					
		24時間後	4級以上					
	カーリング	5分後	3級以上					
		24時間後	3級以上					
物性	引張強さ	ﾀﾃ/ﾖｺ	梳毛 196N以上	196N以上				
		ﾀﾃ/ﾖｺ	紡毛 147N以上					
	引裂強さ	たて	9.8N以上					
		よこ	9.8N以上					
	滑脱抵抗力	ﾀﾃ/ﾖｺ	厚地 5mm以内					
		ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地 3mm以内					
	ピリング	10時間	3級以上 ※5					
	ﾗﾝﾀﾞﾑﾋﾟﾘﾝｸﾞ	乾燥	4級以上					
		湿潤	3級以上					
	スナッグ	ﾀﾃ/ﾖｺ	3級以上					
	摩耗強さ ※6		10000回以上 ※7	8000回以上	100回以上			
	パイル保持性		60%以上					
	撥水性	処理前	4以上					
		処理後	2以上					
遊離ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ		A-Ao	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの 0.05以下					
		μg/g	乳幼児用以外の法規制品 75以下 / その他 300以下					
特定芳香族アミン		μg/g	30以下					

※1 蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外
※2 異色濃淡の組み合わせは汚染4級以上、異色濃淡の組み合わせ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
※3 濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合3-4級以上 、ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天3級以上
※4 濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合2級以上 、ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天1-2級以上
※5 羊毛以外の獣毛混用（30%以上）品・合成繊維混用（30%以上）品の場合は2.5級以上
※6 毛・絹はE法（ﾏｰﾁﾝﾃﾞｰﾙ法）、それ以外はA-1法（ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形法）で行う
※7 ｽｰﾂは20000回以上

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当センターまでご連絡をください。

素材別試験項目基準

試験項目 ＼ 素材			ニット						合成皮革	毛皮・天然皮革
			毛	絹	綿・麻	再生繊維	半合成繊維	合繊		
混用率										
染色堅ろう度	耐光	変退色※1	3級以上						3級以上	3級以上 淡色 2級以上
	洗濯	変退色	4級以上						4級以上	
		汚染※2	3級以上						3級以上	
	水	変退色	4級以上						4級以上	3級以上
		汚染※2	3級以上						3級以上	2級以上
	汗	変退色	4級以上						4級以上	3-4級以上
		汚染※2	3級以上						3級以上	2-3級以上
	摩擦	乾燥※3	4級以上						3-4級以上	3級以上
		湿潤※4	2-3級以上						2-3級以上	1-2級以上
	ﾎｯﾄﾌﾟﾚｯｼﾝｸﾞ	変退色	4級以上							
		汚染	4級以上							
	ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	変退色	4級以上						4級以上	4級以上
		汚染※2	3-4級以上						3級以上	3級以上
	色泣き	汚染	4-5級以上							
	汗耐光	変退色	3級以上							
	塩素処理水	変退色	3級以上							
	酸素系漂白	変退色	4級以上							
	窒素酸化物	変退色	4級以上							
	昇華	変退色						4級以上		
		汚染						4級以上		
寸法変化率	浸せきC法	たて	-4.0～+1.0							
		よこ	-4.0～+1.0							
	プレスH-2法	たて	-3.0～+1.0							
		よこ	-3.0～+1.0							
	洗濯C4M法	たて	-5.0～+3.0							
		よこ	-5.0～+3.0							
	ドライ	たて	-3.0～+1.0							
		よこ	-3.0～+1.0							
物性	破裂強さ		300kPa							
	ピリング	5時間	3級以上 ※5							
	ﾗﾝﾀﾞﾑﾋﾟﾘﾝｸﾞ	乾燥	4級以上							
		湿潤	3級以上							
	スナッグ	ﾀﾃ/ﾖｺ	3級以上							
	パイル保持性		60%以上							
	撥水性	処理前	4以上							
		処理後	2以上							
遊離ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ		A-Ao	出生後24ヶ月以内の乳幼児用のもの 0.05以下							
		μg/g	乳幼児用以外の法規制品 75以下 / その他 300以下							
特定芳香族アミン		μg/g	30以下							

※1 蛍光増白剤の黄変は合否判定より除外
※2 異色濃淡の組み合わせは汚染4級以上、異色濃淡の組み合わせ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
※3 濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合3-4級以上、ﾆｯﾄﾍﾞﾛｱ3級以上
※4 濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合2級以上、ﾆｯﾄﾍﾞﾛｱ1-2級以上
※5 羊毛以外の獣毛混用（30%以上）品・合成繊維混用（30%以上）品の場合は2.5級以上

※試験基準は予告なしで変更する場合がありますから、ご不明な点がございましたら当ｾﾝﾀｰまでご連絡をください。

適用優先順位

毛繊維　30％以上含むもの
羊毛、カシミヤ、モヘヤ、アンゴラ、アルパカ

絹繊維　上記以外で20％以上含むもの
絹

植物繊維　上記以外で30％以上含むもの
綿、麻

再生繊維　上記以外で30％以上含むもの
レーヨン、キュプラ

半合成繊維　上記以外で30％以上含むもの
アセテート、トリアセテート

合成繊維　上記以外で30％以上含むもの
ナイロン、ビニロン、ポリエステル、アクリル
モダクリル、ポリウレタン、複合繊維

【定義】
厚地：　200ｇ/㎡以上
薄地：　200ｇ/㎡未満
淡色：　JIS L 0805　汚染用グレースケール3号以上
濃色：　JIS L 0805　汚染用グレースケール3号未満
異色濃淡組み合わせ：切替仕様の様に異なる素材での異色濃淡組合せや、同じ素材の中で異色濃淡組合せ配色になる場合をいう

【運用補足】
<生地検査>
染色堅牢度の添付白布はJIS通り、合成皮革、天然皮革・毛皮については綿・ナイロンとする。
但し、昇華堅牢度は、綿・ポリエステルとする。
白・生成りの染色堅牢度は耐光・汗耐光のみ実施する。

<製品検査>
取扱表示通りに実施。自然乾燥とタンブル乾燥、両方可能な場合はタンブル乾燥を優先とする。
<遊離ホルムアルデヒド>
製品検査時に生後24ヵ月以内の乳幼児製品は原則全色全パーツ別に実施。乳幼児以外の法規制品は全色パーツ込みで実施し、基準値に満たなかった場合は、パーツ別に実施する。

試験項目及び試験方法

(1)　繊維混用率試験

	JIS L 1030-1	繊維鑑別
	JIS L 1030-2	繊維混用率

(2)　染色堅ろう度試験

耐光試験	JIS L 0842	第3露光法
洗濯試験	JIS L 0844	A-1号・A-2号
水　試験	JIS L 0846	
汗　試験	JIS L 0848	
摩擦試験	JIS L 0849	試験機Ⅱ形
ホットプレッシング試験	JIS L 0850	A法（乾熱試験法）・B法（アイロン法）
ドライクリーニング試験	JIS L 0860	A-1法（パークロロエチレン）
		B-1法（石油系）
色泣き試験		大丸Ⅰ法
汗耐光試験	JIS L 0888	B法
塩素処理水試験	JIS L 0884	A法 弱・B法 強試験
酸素系漂白	JIS L 0889	
窒素酸化物	JIS L 0855	弱試験
昇華	JIS L 0854	

(3)　寸法変化率試験　JIS L 1096

浸せき寸法変化率	JIS L 1096　C法	浸透浸せき法
浸せき寸法変化率	JIS L 1097　D法	石けん液浸せき法
家庭洗濯機寸法変化率	JIS L 1930	C型洗濯機法
プレス寸法変化率	JIS L 1096　H-2法	蒸熱オープン法
ドライ寸法変化率	JIS L 1096　J-1法	パークロロエチレン法
	JIS L 1096　J-2法	石油系法
ハイグラルエキスパンション		浸せきC法準拠
バブリング・カーリング		毛検法

(4)　物性試験

引張強さ	JIS L 1096	A法（ラベルドストリップ法）
破裂強さ	JIS L 1096	A法（ミューレン形法）
引裂強さ	JIS L 1096	D法（ペンジュラム法）
滑脱抵抗力	JIS L 1096	B法
ピリング試験	JIS L 1076	A法（ICI形試験機）
	JIS L 1076	D-2法（ランダム・タンブル形試験機）
スナッグ試験	JIS L 1058	A法（ICI形メース試験機法）
摩耗強さ試験	JIS L 1096	A-1法（ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形法　平面法）
	JIS L 1096	E法（マーチンデール法）
パイル保持性試験	JIS L 1075	A法（ユニバーサル形試験機）
表面フラッシュ	JIS L 1917	
脱毛率		タオル検法
毛羽付着		QTECセロテープ法
中綿ふきだし		バイリーン法
はっ水性試験	JIS L 1092	スプレー試験
遊離ホルムアルデヒド試験	JIS L 1041 厚生省令第34号	A・B法（アセチルアセトン法）
特定芳香族アミン	JIS L 1940-1、-3 厚生省令第34号	

(1) 繊維混用率試験

繊維混用率試験	JIS L 1030-1・1030-2
試 験 目 的	繊維製品品質表示規定 （家庭用品品質表示法）
試験方法の概要	組成繊維の種類を鑑別し、処理すべき試験方法を決定する為にあらかじめ顕微鏡試験・燃焼試験・化学試験などにより、組成繊維の種類を鑑別する。次に解除法・溶解法・比重法・顕微鏡法により混用率を求める。混用率は正量混用率で表す。

(2) 染色堅ろう度試験

耐光堅ろう度試験	JIS L 0842 第3露光法　　試料サイズ 6.5cm×4cm以上
試 験 目 的	染色した繊維製品の日光、電灯（蛍光灯）などの光に対する変退色の程度を調べる。
試験方法の概要	試験片及びブルースケールを試料ホルダに取付け、ブルースケールが標準退色するまで紫外線カーボンアーク灯光にて露光する。露光終了後の試験片及びブルースケールを2時間以上暗所に放置した後、試験片とブルースケールの変退色を視感によって比較判定する。標準退色とは、ブルースケールが変退色用グレースケール4号と同程度に退色すること。試験片がブルースケールと同程度か又は少ない変退色を示した時には、そのブルースケールの等級又はその等級以上と表示し、変退色の程度が大きいときには、その等級未満とする。

洗濯堅ろう度試験	JIS L 0844 A-1号・A-2号　　試料サイズ 10cm×4cm
試 験 目 的	染色した繊維製品の洗濯に対する変退色及び汚染の程度を調べる。
試験方法の概要	複合試験片（試験片+添付白布）を、洗濯試験機を用い規定の方法に基づいて試験液に入れて処理し、水洗い（25±2℃の水100mlで1分間）を2回繰返した後、60℃以下で乾燥し、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をそれぞれ変退色用グレースケール又は汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。

試験の種類（号）	温　度（℃）	石　鹸（g/l）	炭酸ﾅﾄﾘｳﾑ（g/l）	液　量（ml）	ｽﾃﾝﾚｽ剛球（個）	試験瓶容量（ml）	時　間（分）
A-1	40±2	5	---	100	---	550±50	30
A-2	50±2	5	---	100	---	550±50	30

注:　毛・絹　　A-1号　　その他　　A-2号

水堅ろう度試験	JIS L 0846　　試料サイズ 10cm×4cm多繊交織布を用いないときは6cm×6cm
試 験 目 的	染色した繊維製品の水に対する変退色及び汚染の程度を調べる。
試験方法の概要	複合試験片を常温の水に浸し、その後、汗試験機に取付け試料サイズ10×4cmの時は約50N及びサイズ6×6cmの時は約45Nの荷重を掛け37±2℃の乾燥機中に入れて4時間保持する。乾燥後試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をそれぞれ変退色用グレースケール又は汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。

汗堅ろう度試験	JIS L 0848　　試料サイズ 10cm×4cm多繊交織布を用いないときは6cm×6cm
試 験 目 的	染色した繊維製品の汗に対する変退色及び汚染の程度を調べる。
試験方法の概要	複合試験片2片を取り、1片は酸性人工汗液、他片はアルカリ性人工汗液に濡らし、常温で30分間浸透する。その後、汗試験機に取付け約45N又は約50Nの荷重を掛け37±2℃の乾燥機中に入れて4時間保持する。乾燥後試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をそれぞれ変退色用グレースケール又は汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。

摩擦堅ろう度試験　JIS L 0849　Ⅱ形　　試料サイズ 22cm×3cm

試験目的　染色した繊維製品の摩擦に対する汚染の程度を調べる。

試験方法の概要　摩擦試験は、乾燥試験と湿潤試験の2種類の試験方法がある。試験機上に固定した試験片10cmの間を摩擦用白綿布に2Nの荷重で毎分30回往復の速度で100回往復摩擦する。

ﾎｯﾄﾌﾟﾚｯｼﾝｸﾞ堅ろう度試験　JIS L 0850 A法 B法　　試料サイズ 10cm×4cm

試験目的　染色した繊維製品のﾎｯﾄﾌﾟﾚｯｼﾝｸﾞに対する変退色及び汚染の程度を調べる。

試験方法の概要　【A法 乾熱試験機法】

ﾎｯﾄﾌﾟﾚｽ台の上に白綿布１枚を載せ、その上に試験片1枚を上部加熱板のほぼ中央が接するように置き、あらかじめ決められた温度に加熱した上部加熱ばんを重ね4±1kPaの圧力を15秒間加える。

【B法 アイロン法】

ﾎｯﾄﾌﾟﾚｽ台の上に白綿布１枚を置き、その上に試験片1枚を載せる。更にその上からあらかじめ決められた温度に加熱した電気アイロンを底面の中央に接するように置き2.5±0.5kPaの圧力を15秒間加える。

試験番号（号）	温度（℃）	時間（秒）	圧力（kPa）	試験番号（号）	温度（℃）	時間（秒）	圧力（kPa）
A-1	110±2	15	4±1	B-1	110±5	15	2.5±0.5
A-2	150±2			B-2	150±5		
A-3	200±2			B-3	200±5		

乾燥試験　白綿布及び試験片とも乾燥した状態で試験を行う。

湿潤試験

強試験　白綿布及び試験片ともあらかじめ水に浸し、乾燥時の質量と同じ質量の水分を含ませる。

弱試験　白綿布をあらかじめ水に浸し、乾燥時の質量と同じ質量の水分を含ませる。

ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ堅ろう度試験　JIS L 0860　　試料サイズ 10cm×4cm

試験目的　染色した繊維製品のﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞに対する変退色及び汚染の程度を調べる。

試験方法の概要　A-1法：試験瓶にﾊﾟｰｸﾛﾛｴﾁﾚﾝの試験液100mlとｽﾃﾝﾚｽ剛球20個を入れ30±2℃に調整し複合試験片を入れて密封し試験機に取付け30分間運転する。

A-2法：試験瓶にﾊﾟｰｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ100mlを入れ試験液を30±2℃に調整した後複合試験片を入れて密封し、試験機に取付け30分間運転する。

B-1法：試験瓶に工業ガソリン5号試験液100mlとｽﾃﾝﾚｽ剛球20個を入れ30±2℃に調整し複合試験片を入れて密封し、試験機に取付け30分間運転する。

B-2法：試験瓶に工業ガソリン5号試験液を入れ、試験液を30±2℃の調整した後複合試験片を入れて密封し、試験機に取付け30分間運転する。

色泣き試験　大丸Ⅰ法　　試料サイズ 2.5cm×10cm以上

試験目的　染料部分から染料が移動して白場や淡色部を汚染する程度を調べる。

試験方法の概要　0.05%非イオン界面活性剤入りの溶液に試験片の片端を約2cm浸漬し、室温で2時間放置した後、ビーカーを取除き試験片はそのままの状態で乾燥し、判定する。

汗・耐光堅ろう度試験　JIS L 0888 B法　　試料サイズ 1.5cm×6.0cm以上

試験目的　染色した繊維製品の光及び汗の複合作用に対する変退色の程度を調べる。

試験方法の概要　酸性及びアルカリ性人工汗液の中に試験片を入れて30分間浸せきしたものを耐光試験機に取付け、3級ブルースケールが標準退色するまで露光する。

塩素処理水　JIS L 0884 A法・B法試験　試料サイズ 10cm×4cm

試験目的　染色した繊維製品の塩素処理水に対する変退色の程度を調べる。

試験方法の概要　A法（弱試験）は主として水道水を対象とした一般衣料製品についての試験方法であり、B法（強試験）はプール水を対象にした水着等のスポーツ製品についての試験方法である。

酸素系漂白　JIS L 0889　試料サイズ 10cm×4cm

試験目的　染色した繊維製品の酸素系漂白に対する変退色の程度を調べる。

試験方法の概要　合成洗剤0.5g/L、過炭酸ナトリウム8.2g/L、漂白活性化剤1.8g/L入りの試験液100mLを60±2℃に予熱した後、試験片を入れて30分間処理。続いて、水洗い（25±2℃の水100mLで1分間）を2回繰返した後脱水乾燥し、変退色を判定する。

(3) 寸法変化率試験

浸透浸せき法　JIS L 1096 C法　試料サイズ 25cm×25cm （織物）

試料サイズ 30cm×30cm （編物）

試験方法の概要　試験片を非イオン界面活性剤0.05%を含む25±2℃の水溶液中に30分間浸せきし、遠心脱水するか、又は軽く押さえて水を切り、すだれの上で自然乾燥させた後、標準状態の試験室で4時間以上放置する。

石けん液浸せき法　JIS L 1096 D法　試料サイズ 25cm×25cm （織物）

試料サイズ 30cm×30cm （編物）

試験方法の概要　試験片を無添剤（1種）のもの0.5%を含む50±2℃の水溶液中に20分間浸せきし、遠心脱水するか、又は軽く押さえて水を切りすだれの上で自然乾燥させた後、標準状態の試験室で4時間以上放置する。

家庭洗濯機法　JIS L 1930 C型洗濯機法　試料サイズ 40cm×40cm

例　C4M法　基準洗濯機での条件　（MA値70～85）

洗い方	洗　濯		すすぎ				洗　剤	乾　燥
			1回目		2回目			
	温度	時間	温度	時間	温度	時間		
パルセータ式 ノーマル撹拌	40℃	6分	40℃	2分	40℃	2分	標準洗剤4 1.33g/ℓ	ライン （吊干し） スクリーン （平干し）

試験方法の概要　被洗物総重量が2000±100gになるよう負荷布で調整する。続いて、洗剤を洗剤投入口に入れ、規定の水温で洗濯プログラムを実施する。工程終了後、直射日光の影響を受けない状態で吊干し又は平干しをする。

商業用ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ法　JIS L1931-4　W法又はCW法　原則として製品に適用

W法はA型洗濯機、CW法はC型洗濯機を使用

試験方法の概要
・洗物総重量が2000±100gになるよう負荷布で調整する。
・所定の洗剤・水・温度・回転動作で主洗いし、その後すすぎと脱水を規定回数行う。
・タンブル乾燥後自然状態で放置する。（W3,CW3はタンブル乾燥無し）

プレス法　JIS L 1096 H-2法　試料サイズ 25cm×25cm

試験方法の概要　プレス機の蒸気圧を490kPaに設定し、試験片を下ごて中央部に丁寧に置き、上ごてを試験片の表面から約2cmの位置まで降ろし、15秒間蒸気をふかした後、上ごてを上げ、15秒間吸引する。

ドライクリーニング法　JIS L 1096 J-1法　試料サイズ 25cm×25cm （織物）

試料サイズ 30cm×30cm （編物）

試験方法の概要　パークロロエチレン4ℓに対して、陰イオン界面活性剤2g及び非イオン界面活性剤2gを溶かし、更に水8mlを加えて40℃の試験液をウォッシュシリンダ形洗濯装置に入れ15分間運転し、脱水した後乾燥する。

ドライクリーニング法　JIS L 1096 J-2法　試料サイズ 25cm×25cm （織物）

試料サイズ 30cm×30cm （編物）

試験方法の概要　クリーニングソルベント4ℓに対して、陰イオン界面活性剤2g及び非イオン界面活性剤2gを溶かし、更に水8mlを加えて35℃の試験液をウォッシュシリンダ形洗濯装置に入れ35分間運転し、脱水した後乾燥する。

ハイグラルエキスパンション　C法準拠　試料サイズ 25cm×25cm

試験目的　羊毛繊維等が水分の吸収や発散する事により、織物の伸び縮みの現象の程度を調べる。

試験方法の概要　25℃の0.05%非イオン界面活性剤溶液に30分間浸せきした後軽く脱水し濡れた状態でたて・よこ寸法を測定(a)する。試験片を標準状態で24時間自然乾燥し、たて・よこ寸法を測定(b)する。

$$\text{ハイグラルエキスパンション（\%）} = \frac{a-b}{b} \times 100$$

バブリング　毛検法　試料サイズ 25cm×25cm

試験方法の概要　試料を水平台に置き30～40%程度の水を均一に霧吹き、30分間及び24時間放置した後の外観を判定する。

カーリング　毛検法　試料サイズ 25cm×25cm

試験方法の概要　試料を水平台に置き30～40%程度の水を均一に霧吹き、5分間及び24時間放置した後の試料の端がカールする状態を判定する。

(4) 物性試験

引張強さ　JIS L 1096 A法 ラベルドストリップ法　※試料サイズ 5cm×20cm　たて・よこ　各3枚

※但し毛織物は5cm×15cm

試験目的　織物が引張られ破断した時の強さを調べる。

試験方法の概要　織物については幅の両側から大体同数の糸を取除いて所定の幅としたものを引張り試験機を用いて試験片を引張り、切断時の強さ(N)を測定する。

破裂強さ　JIS L 1096 A法 ミューレン形法　試料サイズ 15cm×15cm　5枚

試験目的　加えられた圧力により、編地が破裂したときの強さを調べる。

試験方法の概要　圧力を加えて試験片が破裂するまでゴム膜を膨らませ、破裂時の強さを測定する。

引裂強さ　JIS L 1096 D法 ペンジュラム法　試料サイズ 6.3cm×10cm　タテ・ヨコ各5枚

試験目的　織物が引裂かれたときの強さを調べる。

試験方法の概要　エレメンドルフ形引裂試験機を用いて、中央に2cmの切れ目を入れ、残り4.3cmを引裂いたときに示す荷重強さを測定する。

滑脱抵抗力　JIS L 1096 縫目滑脱法 B法　試料サイズ 10cm×17cm　タテ・ヨコ各5枚

試験目的　一定の条件で縫い合わせた試験片を直角方向に力を加えその時の縫目の開きを調べる。

試験方法の概要　10×17cmの試験片を規定の条件で縫い合せ、所定の荷重を与えた後、1時間放置後初荷重を与え最大孔の大きさを0.1mm単位まで測定する。

ピリング試験　JIS L 1076 A法　ICI形試験機　　試料サイズ 10cm×12cm　タテ・ヨコ各2枚

試験目的　着用中の摩擦による生地表面のピリング（小さな球状のかたまりピル・毛玉）の発生の程度を調べる。

試験方法の概要　特殊ゴム管に試料を巻きつけた物を4個1組にして、コルクを内張りした立方体回転箱に入れ、編物は5時間、織物は10時間60±2回転の回転速度で操作し毛玉の発生状況を標準写真見本により程度を比較判定する。又ピルの脱落及び毛羽乱れの有無について観察し、判定結果にその旨を付記する。

ピリング試験　JIS L 1076 D-2法　ﾗﾝﾀﾞﾑ･ﾀﾝﾌﾞﾙ形試験機　　試料サイズ 10.6cm×10.6cm　3枚

試験方法の概要　織物にあっては、たて方向又はよこ方向に対して、編物にあっては、ウェール方向又コース方向に対して約45°の角度で試験片を3枚採取し、ほつれないように合成ゴム接着剤で固め、試験機の円筒内に入れ1200rpmで30分間操作をする。 但し湿潤については、約6%の湿潤状態の試験片で行う。　（当会は、ﾗﾝﾀﾞﾑ･ﾀﾝﾌﾞﾙ形試験機は、B形を使用）

スナッグ試験　JIS L 1058 A法　ICI形ﾒｰｽ試験機法　　試料サイズ 200mm×330mm　タテ・ヨコ各2枚

試験目的　着用時の引掛りによる引きつれや毛玉の発生の程度を調べる。

試験方法の概要　シリンダに巻いた試験片を60rpmで100回転させメース（スパイクボール）がランダムに飛び跳ねてスナッグを発生させる。

摩耗強さ試験　JIS L 1096 A-1法（平面法）ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ形法　　試料サイズ 直径12cm　5枚

試験目的　摩擦に対する生地の強さを調べる。

試験方法の概要　試験機のゴム膜の上に載せ研磨紙で多方向に摩擦し、試験片が破壊した時の回数を測定する。

試料の質量(g/㎡)	研磨紙の種類（参考）
250未満	炭化けい素質P1200-Cw
250以上400未満	炭化けい素質P800-Cw
400以上	炭化けい素質P400-Cw

摩耗強さ試験　JIS L 1096 E法（マーチンデール法）　　試料サイズ 直径3.8cm　4枚

試験目的　摩擦に対する生地の強さを調べる。

試験方法の概要　試験片を摩耗試験機のホルダに取り付け、あらかじめ織フェルトの上に標準摩擦布を重ねて取り付けた摩擦台の上に載せて多方向に摩擦しエンドポイントまでの回数を測り4回の平均を算出し、100回単位で表す。

※当センターのエンドポイントは糸切れ（2本以上）

パイル保持性試験　JIS L 1075 A法（ユニバーサル形試験機）

試験目的　パイル織物及びパイル編物の摩擦に対するパイルの脱落の程度（保持性）を調べる。

試験方法の概要　80×80㎜の試験片(A)と隣接して直径18㎜又は25㎜の円形試験片(b)を採集する。装置の合成ゴム板の上に試験片(a)のパイル面を下にして置き、試験片の裏側を耐水研磨紙により所定の押圧荷重のもとで多方向に摩擦する。

摩擦台の直径	：25㎜	：18㎜
耐水研磨紙	：Cw-C-P400又はP600	
押圧荷重	：40g	：20g
摩擦回数	500回（当事者間の協定による場合はこの限りではない）	

一定の回数（500回）の摩擦をした後、試験片(b)と同じ大きさの円形に摩擦部分を切取り、パイル残留質量(g)をはかり、次式によってパイル保持率(%)を算出する。

$$\text{パイル保持率（\%）} = \frac{W1}{W} \times 100$$

W　：試験片 (b) のパイル質量 (g)

W1　：試験後に試験片 (a) を試験片（b）の大きさに切り取ったもののパイル残留質量 (g)

はっ水度試験　JIS L 1092 スプレー試験　　試料サイズ 20㎝×20㎝　3枚

試験目的　衣料品の生地表面が雨水等をはじく程度を調べる。

試験方法の概要　試験片を保持枠に取付け、水250mlをガラス漏斗に入れて試験片上に散布する。標準写真見本により程度を比較し判定する。前処理は家庭用品品質表示法に従う

遊離ホルムアルデヒド試験　JIS L 1041アセチルアセトン法（A法・B法）　及び　厚生省令第34号

試験目的　繊維製品に付着及び含有されるホルマリンを調べる。なおホルマリンが含有していると、湿疹、かぶれ等の症状を引起す恐れがあるため、法律及び行政指導で規制されている。

試験方法の概要　JIS L 1041アセチルアセトン法と厚生省令第34号は試験方法は同じであり繊維の分野では一般的にA法は乳幼児用途（生後24ヶ月以内）、B法は一般用途（生後24ヶ月以降）のものに適用されている。

A法：試料2.50gを正秤し、細かく切り水100mlを加え40℃にて1時間抽出する。この抽出液に発色試薬（アセチルアセトン試液）を加え、40℃にて30分間加温した後、30分間放置した液を分光光度計を用い発色試薬を加えないものとの吸光度差を求める。

B法：試料1.00gを正秤し、A法と同様の操作を行い、吸光度差を求め、既知なデータより、その試料に含まれるホルマリン量ppm(μg/g)を算出する。

アイテム毎基準−目次−

1. セーター類
2. ポロシャツ・Tシャツ・トレーナー・スウェット類
3. シャツ・ブラウス類
4. ワイシャツ類
5. ジャケット・コート・ジャンパー類
6. スカート・ワンピース・パンツ・スラックス類
7. 肌着・寝衣類
8. 水着
9. 裏地・附属類
10. マフラー・ストール類
11. 寝具・カバー類
12. 手袋類
13. ネクタイ
14. 帽子
15. 靴下類
16. ハンカチ・タオル類
17. マスク(ファッション用途)
18. 形態安定加工製品
19. かばん類
20. 雑貨・小物類

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

1. セーター類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
	物性	水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛（薄起毛含む）、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		表面フラッシュ	JIS L 1917	「表面ﾌﾗｯｼｭ無し」炎10cm未満		・起毛製品で起毛部分の繊維がｾﾙﾛｰｽ系繊維50%以上に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	-6～+3%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

2. ポロシャツ・Tシャツ・トレーナー・スウェット類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・アセテート) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びウェットクリーニング可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ドライクリーニング可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊プリント・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ニットベロア乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ドライクリーニング可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・レーヨンなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・セルロース系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・セルロース系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・アセテート・トリアセテート・ナイロンを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ポリエステル繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の編地に適用
		パイル保持性	JIS L 1075 A法	60%以上		・ニットベロアに適用
		表面フラッシュ	JIS L 1917	「表面フラッシュ無し」炎10cm未満		・起毛製品で起毛部分の繊維がセルロース系繊維50%以上に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	自然乾燥　-6～+3% タンブル乾燥　-8～0%	・ゴム編・クレープ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	7%以内	・スリット・前割れ・タテ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、コーティング、フロッキー、ボンディング製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライクリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ドライクリーニング可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ドライクリーニング可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、コーティング、フロッキー、ボンディング製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェットクリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ウェットクリーニング可表示品に適用 ・家庭洗濯・ドライクリーニング不可でウェットクリーニング可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊プリント(顔料・ラバー等)、合成皮革、コーティング、フロッキー、ボンディング製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

3. シャツ・ブラウス類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		パイル保持性	JIS L 1075 A法	60%以上		・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱに適用
		表面フラッシュ	JIS L 1917	「表面ﾌﾗｯｼｭ無し」炎10cm未満		・起毛製品で起毛部分の繊維がｾﾙﾛｰｽ系繊維50%以上に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	織地　自然乾燥　-5～+3% 織地　ﾀﾝﾌﾞﾙ乾燥　-5～0% 編地　自然乾燥　-6～+3% 編地　ﾀﾝﾌﾞﾙ乾燥　-8～0%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	織地3%以内 編地7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

4. ワイシャツ類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	衿回り-2～0% その他の部位-3～＋1%	
				斜行	3%以内	
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	衿回り-2～0% その他の部位-3～＋1%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	衿回り-2～0% その他の部位-3～＋1%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

5. ジャケット・コート・ジャンパー類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		ピリング	JIS L 1076 D-2法	乾燥	4級以上	・毛30%以上混用品に適用
				湿潤	3級以上	
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		パイル保持性	JIS L 1075 A法	60%以上		・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱに適用
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
		表面フラッシュ	JIS L 1917	「表面ﾌﾗｯｼｭ無し」炎10cm未満		・起毛製品で起毛部分の繊維がｾﾙﾛｰｽ系繊維50%以上に適用
	その他	☆ バブリング	ケケン法	30分後　3級以上/24時間後　4級以上		・毛50%以上含むスーツ地は必須
		☆ カーリング	ケケン法	5分後　3級以上/24時間後　3級以上		・毛50%以上含むスーツ地は必須
		☆ はっ水性	JIS L 1092 スプレー法	初期4級以上　処理後2級以上		・はっ水表示製品は必須
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	織地-5～+3% 編地-6～+3%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	織地3%以内 編地7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	

		試験項目	試験方法	判定基準	特例判定基準・対象品および備考
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用 A-Ao 0.05以下	・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下	

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

6. スカート・ワンピース・パンツ・スラックス類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		ピリング	JIS L 1076 D-2法	乾燥	4級以上	・毛30%以上混用品に適用
				湿潤	3級以上	
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		パイル保持性	JIS L 1075 A法	60%以上		・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱに適用
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
	その他	☆ バブリング	ケケン法	30分後　3級以上/24時間後　4級以上		・毛50%以上含むスーツ地は必須
		☆ カーリング	ケケン法	5分後　3級以上/24時間後　3級以上		・毛50%以上含むスーツ地は必須
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	織地-5～+3% 編地-6～+3%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	織地3%以内 編地7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

7. 肌着・寝衣類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛（薄起毛含む）、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		パイル保持性	JIS L 1075 A法	60%以上		・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱに適用
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
		表面フラッシュ	JIS L 1917	「表面ﾌﾗｯｼｭ無し」炎10cm未満		・起毛製品で起毛部分の繊維がｾﾙﾛｰｽ系繊維50%以上に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	織地-5～+3% 編地-6～+3%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	織地3%以内 編地7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
	安全性	★ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下 上記以外の法規制品　75ppm以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

8. 水着

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		★ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		水	JIS L 0846	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		★ 塩素処理水	JIS L 0884　B法	変退色	4級以上	
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		☆ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		表示品は必須
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	-6～+3%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	織地3%以内 編地7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
(*2)表示がない場合はC4M法吊干しによる試験を行う

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

9. 裏地・附属類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	・裏地は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
安全性		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

10. マフラー・ストール類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		中綿の吹き出し	パイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	-6～+3%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	織地3%以内 編地7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

11. 寝具・カバー類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用。起毛品150N以上、紡毛品120N以上
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		☆ 毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛（薄起毛含む）製品は必須
		★ ピリング	JIS L 1076 A法	5H	2.5級以上	・毛布に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・毛布以外に適用 ・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
		☆ 脱毛率	タオル検法	ループパイル	0.2%以下	・ﾊﾟｲﾙ製品は必須
				カットパイル	0.4%以下	
				無撚糸	0.5%以下	
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		☆ サイズ表示		適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	織地±3% 編地±5%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				斜行	織地3%以内 編地7%以内	・ｽﾘｯﾄ・前割れ・ﾀﾃ方向の柄がある製品は斜行5%以内
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下 上記以外の法規制品　75ppm以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

12. 手袋類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	★ 引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	150N以上/120N以上	・織地は必須
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		☆ 破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地は必須
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛（薄起毛含む）、獣毛(羊毛以外)に適用
		★ ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		☆ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		・表示品は必須
		☆ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	織地±3% 編地±5%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用
				寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用
				寸法変化率	±3%	・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	★ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下 上記以外の法規制品　75ppm以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
(*2)表示がない場合はC4M法吊干しによる試験を行う

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

13. ネクタイ

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は除外
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		☆ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		・表示品は必須
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	±3%	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	織地3級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

14. 帽子

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・水洗い不可・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	3-4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		☆ 汗耐光	JIS L 0888　B法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品は必須
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛（薄起毛含む）、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		パイル保持性	JIS L 1075 A法	60%以上		・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾟﾛｱに適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	頭囲±3% その他の部位-5%～+3%(*2)	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				変退色	4級以上(*2)	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上(*2)	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ウェット	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 3回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
(*2)雑材・天然皮革は　寸法変化率　その他部位±4%、変退色3級以上、ブリード3-4級以上

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

15. 靴下類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		★ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	水洗い不可品は除外
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	196N以上	・織地に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛（薄起毛含む）、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		摩耗強さ	JIS L 1096 F-1法 引張荷重：11.1N 押圧荷重：44.5N	ビジネスソックス　1000回以上 上記以外　500回以上		・つま先、かかと部分に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		☆ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		・表示品は必須
		☆ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	着用に特に影響がないこと	
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライクリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下 上記以外の法規制品　75ppm以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
(*2)表示がない場合はC4M法吊干しによる試験を行う

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

16. ハンカチ・タオル類

		試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		★ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い不可品は除外
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
		☆ 毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)混用品、カットパイル品は必須
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		☆ パイル保持性	JIS L 1075 B法	500mN以上		・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙは必須
		☆ 脱毛率	タオル検法	ループパイル	0.2%以下	・ﾀｵﾙ類は必須
				カットパイル	0.4%以下	
				無撚糸	0.5%以下	
		☆ 吸水性	JIS L 1907 沈降法	60秒以内		・ﾀｵﾙ類は必須 ・吸水性を謳う場合は5秒以内
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		☆ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		表示品は必須
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	★ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	・水洗い不可品は除外
				寸法変化率	-6～+3%	
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライクリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用 ・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
(*2)表示がない場合はC4M法吊干しによる試験を行う

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

17．マスク(ファッション用途)

		試験項目		判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	★ 耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾞﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		水滴下	JIS L 0853	変退色	4-5級以上	・毛・絹・ﾚｰﾖﾝなどの再生繊維、合計50%以上の製品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	7N以上	・織地に適用
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	300kPa以上		・編地に適用
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法準拠	適正であること		
		☆ 取扱表示	家庭用品品質表示法準拠	適正であること		
		☆ 取扱表示	(一社)日本衛生材料工業連合会じぎゅ基準	適正であること		
		★ 原産国表示	不当景品類及び不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	-6～+3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	★ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	A-Ao 0.05以下		
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
(*2)表示がない場合はC4M法吊干しによる試験を行う

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

18. 形態安定加工製品

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
製品検査		★ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ 取扱表示	家庭用品品質表示法	適正であること		
		★ サイズ表示	日本産業規格	適正であること		・判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性（10回）	JIS L 1930　C4M ネット使用は表示による ・C4M法を1サイクルとし繰り返し洗濯。 <吊干し> 測定判定は1回後、10（5）回後の吊干し後に行う。各回の洗濯は必ず洗濯槽より取り出し、洗濯しわや形を整えて吊干し後次の洗濯を行う。	外観・縫製	異常がないこと	・織地製品に適用
				寸法変化率	衿廻り±1.0% その他±1.5%	
				変退色	1回目　4級以上 10回目　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				W＆W性	3.2級以上	
				パッカリング	衿・カフス・ボトム脇・尻縫い3.5級以上 前立て・ポケット　3級以上	
				保形性	3級以上	
		☆ 耐洗濯性（5回）	<タンブル乾燥> 測定判定は1回後、10（5回）のタンブル乾燥後に行う。1回の洗濯毎にタンブル乾燥を行い、乾燥しわや形を整えてから次の洗濯を行う。 尚、1回目で基準値に満たない場合、その時点で試験を中止する。	外観・縫製	異常がないこと	・編地製品に適用
				寸法変化率	衿廻り±1.0% 丈-2～+1% 巾-3～+1%	
				変退色	1回目　4級以上 5回目　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				W＆W性	3.2級以上	
				保形性	3級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下 上記以外の制品　300ppm以下		・法規制品は必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

19. かばん類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い可表示製品は必須
				汚染	3級以上	
		☆ 水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・内容物と接触する部分は必須 ・天然皮革は変退色3級以上、汚染2級以上
				汚染	3級以上	
		汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	
				汚染	3級以上	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品は乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾞﾛｱは乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。天然皮革は乾燥3級以上、湿潤2級以上
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
	物性	★ 把手・肩紐強さ	JIS L 1096 A法準用	容量30L未満：(容積L×10.0)N以上 容量30L以上:300N以上 ｽｰﾂｹｰｽ・ｷｬﾘｰｹｰｽ等のﾊﾝﾄﾞﾙ・ｷｬﾘｰﾊﾞｰ：600N以上		使用時に力の加わる方向と逆方向で実施。(できない場合は順方向で実施。)
		☆ 縫目強さ	JIS L 1093 グラブ法	150N以上		・表地底縫い部は必須。ｽｰﾂｹｰｽ・ｷｬﾘｰｹｰｽは除外
		☆ キャスターの走行性	容積に応じた重り(*1)を入れ、時速5kmで30分間走行。2輪のものは50度の傾斜、4輪のものは垂直にたてて試験	作動に異常がないこと		・ｷｬｽﾀｰ付きのｽｰﾂｹｰｽ、ｷｬﾘｰｹｰｽ等は必須
		☆ キャスターの衝撃性	容積に応じた重り(*1)を入れ、10mmの段差のある直径200mmのﾄﾞﾗﾑ上で50回/分の速度で1時間回転させる。2輪のものは50度の傾斜、4輪のものは垂直にたてて試験	作動に異常がないこと		・ｷｬｽﾀｰ付きのｽｰﾂｹｰｽ、ｷｬﾘｰｹｰｽ等は必須
		☆ 落下強さ	容積に応じた重しを入れ、把手部分を上にして1mの高さからコンクリート面に落下させる	ｷｬｽﾀｰ、底面、蝶番、鍵等に異常がないこと		・ｷｬｽﾀｰ付きのｽｰﾂｹｰｽ、ｷｬﾘｰｹｰｽ等は必須
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	50N以上	・本体表生地(織地)に適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	10N以上	・本体表生地(織地)に適用
		☆ 毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)混用品、カットパイル品は必須
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
		表面フラッシュ	JIS L 1917	「表面ﾌﾗｯｼｭ無し」炎10cm未満		・起毛製品で起毛部分の繊維がｾﾙﾛｰｽ系繊維50%以上に適用
		☆ はっ水性	JIS L 1092 スプレー法	初期4級以上　処理後2級以上		・はっ水表示製品は必須。水洗い可またはドライ可表示品の場合は3回処理を実施
製品検査		☆ 表示	家庭用品品質表示法	適正であること		・家庭用品品質表示法対象品に適用
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示防止法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	水洗い可表示製品は必須
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用
				寸法変化率	±3%	
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
		繰返し3回ドライ	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等に適用
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用 A-Ao 0.05以下		・法規制品は必須

【注意】
(*1)容積に応じた重り　　容積20L未満→　10kg
　　容積20L以上～70L未満→　20kg
　　容積70L以上→　30kg
(*2)取扱い表示がない場合は、C4M法吊干しによる試験を行う。

★必須項目　☆準必須項目
無印 任意項目

20.雑貨・小物類

		試験項目	試験方法	判定基準		特例判定基準・対象品および備考
生地検査	染色堅牢度	耐光	JIS L 0842 第3露光法	変退色	3級以上	・蛍光増白剤による黄変は合否判定より除外
		☆ 洗濯	JIS L 0844 A-1号(毛・絹・ｱｾﾃｰﾄ) A-2号(上記以外)	変退色	4級以上	・水洗い及びｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3級以上(*1)	
		水	JIS L 0846	変退色	4級以上	・天然皮革・毛皮は変退色3級以上、汚染2級以上
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 汗	JIS L 0848	変退色	4級以上	・天然皮革・毛皮は変退色3-4級以上、汚染2-3級以上
				汚染	3級以上(*1)	
		★ 摩擦	JIS L 0849　Ⅱ形	乾燥	4級以上	・濃色・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ・起毛品の場合乾燥3-4級以上、湿潤2級以上。天然皮革・毛皮・ﾃﾞﾆﾑ・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾞﾛｱ乾燥3級以上、湿潤1-2級以上。
				湿潤	2-3級以上	
		☆ ドライクリーニング	JIS L 0860 A-1法/B-1法	変退色	4級以上	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				汚染	3-4級以上(*1)	
		色泣き	大丸法	汚染	4-5級以上	・異色濃淡組合せ品に適用
		塩素処理水	JIS L 0884　A法	変退色	3級以上	・ｾﾙﾛｰｽ系繊維を35%以上含む製品に適用。
		酵素系漂白	JIS L 0889	変退色	4級以上	・酵素系漂白可表示品に適用
		窒素酸化物	JIS L 0855　弱試験	変退色	4級以上	・ｱｾﾃｰﾄ・ﾄﾘｱｾﾃｰﾄ・ﾅｲﾛﾝを含む製品に適用
		昇華	JIS L 0854	変退色	4級以上	・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維を含む製品に適用
				汚染	4級以上	
	物性	引張強さ	JIS L 1096　A法	ﾀﾃ/ﾖｺ	150N以上	・織地に適用
		美錠強さ	JIS L 1096　A法準用 つかみ間隔:200mm 引張速度200mm/min 留め金具にベルトを通し、留め金具の取り付け強度も含めて引っ張る	150N以上		・ベルトに適用
		引裂強さ	JIS L 1096　D法	ﾀﾃ/ﾖｺ	9.8N以上	・織地に適用
		滑脱抵抗力	JIS L1096 縫目滑脱法　B法	ﾀﾃ/ﾖｺ	薄地3mm以下 厚地5mm以下	・織地に適用　荷重は薄地49.0N/厚地117.7N
		破裂強さ	JIS L 1096　A法	500kPa以上		・編地に適用
		毛羽付着	セロテープ法	3級以上		・表・裏起毛(薄起毛含む)、獣毛(羊毛以外)に適用
		ピリング	JIS L 1076 A法	織10H　編5H	3級以上	・羊毛以外の獣毛混用(30%以上)品と合成繊維混用(30%以上)品の場合は2.5級以上
		スナッグ	JIS L 1058 A法	3級以上		・長繊維の織地・編地に適用
		パイル保持性	JIS L 1075 A法	60%以上		・別珍・ｺｰﾙ天・ﾆｯﾄﾍﾞﾛｱに適用
		中綿の吹き出し	バイリーン法	3級以上		・中綿製品に適用
		吸水性	JIS L 1907 沈降法	60秒以内		・吸水性を謳う場合は5秒以内
製品検査		☆ 組成表示	家庭用品品質表示法	適正であること		・家庭用品品質表示法対象品に適用
		☆ 取扱表示	家庭用品品質表示法準拠	適正であること		・家庭用品品質表示法対象品に適用
		☆ サイズ表示		適正であること		・表示品に適用。判定より除外
		★ 原産国表示	不当景品類及び 不当表示法	適正であること		
		★ 外観・縫製		異常がないこと		
	耐洗濯性	☆ 耐洗濯性	JIS L 1930 取扱表示に従う(*2)	外観・縫製	異常がないこと	・家庭洗濯可表示製品は必須
				寸法変化率	±5%	・ｺﾞﾑ編・ｸﾚｰﾌﾟ(楊柳・縮緬等)など回復性のある巾方向の寸法変化率は適用除外
				変退色	4級以上	・蛍光増白剤による変退色はその都度明記し合否判定から除外。
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
		☆ 繰返し5回洗濯	JIS L 1930 C4M法吊干し	外観変化	異常がないこと	・特殊ﾌﾟﾘﾝﾄ(顔料・ﾗﾊﾞｰ等)、合成皮革、ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌﾛｯｷｰ、ﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ製品等は必須
				変退色	1回後　4級以上 5回後　3級以上	
				ブリード	4-5級以上	
	耐ドライ性	☆ 耐商業ドライ クリーニング性	JIS L 1931 P2又はF2 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用
				寸法変化率	±3%	・家庭洗濯不可、ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可製品は必須
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
	耐ウェット性	☆ 耐商業ウェット クリーニング性	JIS L 1931-4 取扱表示に従う	外観・縫製	異常がないこと	・ｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品に適用
				寸法変化率	±3%	・家庭洗濯・ﾄﾞﾗｲｸﾘｰﾆﾝｸﾞ不可でｳｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ可表示品は必須
				変退色	4級以上	
				ブリード	4-5級以上	
				パッカリング	3級以上	
	安全性	☆ 遊離ホルムアルデヒド	厚生省令第34号	出生後24ヵ月以内の乳幼児用　A-Ao 0.05以下 上記以外　75ppm以下		・法規制品は必須 ・ｽﾘｯﾊﾟ・ﾙｰﾑｼｭｰｽﾞは代表一点(全パーツ込み)必須
		特定芳香族アミン	厚生省令第34号	30μg/g(ppm)以下		

【注意】
(*1)異色濃淡組合せ品は汚染4級以上、異色濃淡組合せ以外の「毛・絹70%以上含むもの」は汚染2-3級以上
(*2)取扱い表示がない場合は、C4M法吊干しによる試験を行う。